「豊か」なままだと思っていませんか？

富山湾の今と未来を見直すシンポジウム

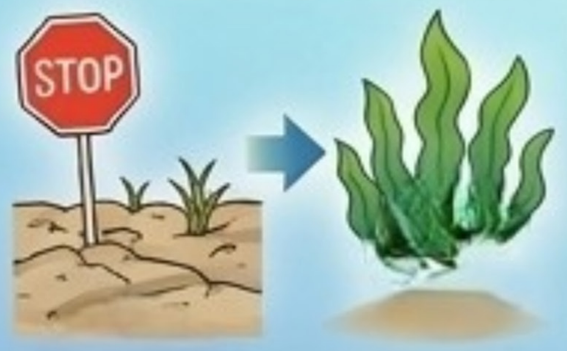
Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

海藻（かいそう）が、地球と人類を救う!?



＼ここが見どころ！4つのワクワクするお話／

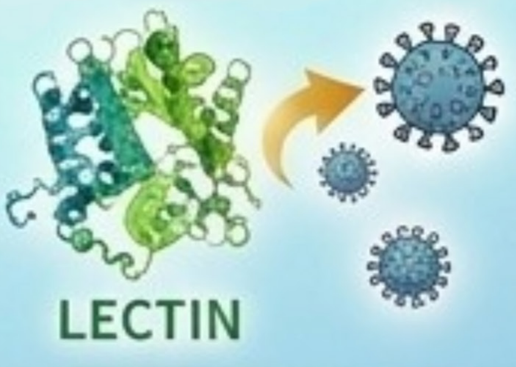
①【現場の挑戦】
海が砂漠になっている!?



②【仲間づくり】
科学の力 × 地域の力



③【最先端バイオ】
海藻がウィルスを撃退 ?!



④【未来の宝探し】
海の森は「新薬」の宝庫！



【開催概要】

日時：令和８年 12 月 12 日（土）13：30 ～

場所：滑川市民交流プラザ３階多目的ホール（富山県滑川市吾妻町４２６）



第１部：取組報告（45 分）

滑川高校生　「滑川沖の海藻」、「地域資源に新たな価値を ― 富山湾産ガゴメコンブの魅力と商品化への挑戦」

氷見高校生　「氷見市で漁獲された未利用・低利用魚の有効活用」

事務局　「にいかわ圏海藻による環境保全と産業化プロジェクトの取組」

第２部：シンポジウム「海藻による環境保全と産業化」（90 分）

コーディネーター：馬　場　　治　（東京海洋大学名誉教授）

コメンテーター：中　尾　洋　一　（早稲田大学教授）

清　野　聡　子　（九州大学准教授）

平　山　　真　（広島大学准教授）

松　村　　航　（富山県水産研究所副主幹研究員）

入場無料

定員：90 名限定

【主　　催】にいかわ圏海藻による環境保全と産業化プロジェクト協議会

（魚津漁協、滑川漁協、くろべ漁協、入善漁協、泊漁協、朝日町漁協）

中学生・高校生・県民の皆様大歓迎!!
富山湾の未来を一緒につないでいきませんか

申し込みは
こちらから➡